

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映されたのか、対応を追跡しました。

●平成27年3月定例会● 一般質問

北郷 幹夫 議員

リサイクルボックスを設置せよ

町では、役場車庫内で衣類、寝具（布団カバー、シーツ等、タオル地）を収集していますが、町民にはあまり知られていないのではないですか。

設置に向け、前向きに検討

繊維類の古着などは大事な有効資源ですので、リサイクルできることを改めて周知し、リサイクルボックスの設置に向け、前向きに検討します。

町内2カ所に設置

7月から役場、公民館の2カ所に古着回収ボックスを設置し、家庭で不要となった衣類の回収が開始されました。

- 衣類回収ボックス設置場所
 - ・広野町役場 正面入り口
 - ・広野町公民館(改修工事中は、中央体育館入口)

- 回収するもの
 - ・家庭で不要となった古着全般

※利用時間は、各施設の開庁・開館時間内です。



設置された古着回収ボックス（役場正面入口）

5人の議員が町政を問う

一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いたすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

本賠償未請求者解消に向けての方策は遠藤町長／未請求者を特定し、解消に向け努める

北郷 福島第一原発事故に伴う本賠償未請求者は現在何人ですか。

また、時効という問題がある中で、解消に向けてどのような方策を考えていますか。

町長 東京電力株式会社への調査は、平成27年7月31日現在の本賠償未請求者は66人です。

昨年度から、東京電力株式会社と協力し、完全未請求者の特定を行い、請求するよう働きかけを行っております。



生活習慣病予防のために適度な運動を（健康ウォーク）

ウォーキングマップを作成せよ 遠藤町長／作成したが見直しが必要

北郷 生活環境の変化により、生活習慣病の発症や悪化が懸念されており、それらを予防するためにウォーキングなどの有酸素運動が効果的と言われています。

町内の代表的なウォーキングコースを決めて、コースマップを作成することについて、どう考えますか。

町長 平成21年3月に策定した「広野町健康づくり計画」の運動部門で、広野町ウォーキングコースマップを作成し、平成22年度に町内全戸配布をしています。しかし、震災以降は、復興・復旧の事業によるコースの変化や、大型車両、原発事故収束作業に関わる車両の通行量の増加があり、今後見直しが必要と考えています。

北郷 放射線による健康不安の解消を図るため実施している、内部被ばく検査と甲状腺検査の実施状況及び検査結果はどうなっていますか。

また、今後どのように取り組んでいきますか。

町長 内部被ばく検査を受検した総数は、平成27年8月末時点で、延べ1873人です。この内、セシウム134またはセシウム137が一度でも検出された方の延べ人数は212人でしたが、いずれの方も※預託実効線量は1ミリシーベルト未満です。

今後、不安軽減のため、年一回は検査を受けていただけるよう引き続き広報ひろのなどで案内をしていきます。

※預託実効線量
成人では50年間、子供では70歳までに体内から受け取ると思われる内部被ばく線量。

調査検討委員会などの資料によると、平成23年3月11日時点で、概ね0歳から18歳までの県民を対象とした先行調査において、対象者は1077人であり、一次検査の受診者数は838人です。その内、二次検査が必要な方は5人でしたが、悪性疑いに該当した方はいませんでした。

本格調査は、平成26年4月から平成28年3月までの期間で実施しますが、次回の検査以降は、20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに検査を実施していきます。



北郷 幹夫 議員